

九条北小学校 校長室だより

N0.70 令和2年11月17日



民間企業の開発した有人宇宙船の第1号に、日本人宇宙飛行士「野口聰一さん」の搭乗は、心躍るニュースでした。宇宙空間で、様々な実験も予定していると聞きます。今後の宇宙からの便りにも注目してみたいと思います。



★ 小学生のないたい職業2020 ★ (あるメーカーの調査結果より)

九条北小学校の児童たちは、将来の夢について、どのように考えているでしょうか。

<男の子>

- 1位 スポーツ選手
- 2位 警察官
- 3位 運転士・運転手
- 4位 消防・レスキュー隊
- 5位 T V・アニメキャラクター
- 6位 研究者
- 7位 ケーキ屋・パン屋
- 8位 医師
- 9位 大工・職人
- 10位 ユーチューバー

<女の子>

- 1位 ケーキ屋・パン屋
- 2位 芸能人・歌手・モデル
- 3位 看護師
- 4位 花屋
- 4位 保育士
- 6位 アイスクリーム屋
- 7位 医師
- 8位 教員
- 9位 警察官
- 10位 美容師

★ 野口さん搭乗「クルードラゴン」打ち上げ成功

民間主導の有人宇宙船の運用本格化 ★ (ニュース抜粋)

米宇宙企業のスペースXは米東部時間15日午後7時27分(日本時間16日午前9時27分)、野口聰一さんら4人の宇宙飛行士が搭乗する新型宇宙船「クルードラゴン」を米フロリダ州のケネディ宇宙センターからファルコン9ロケットで打ち上げた。12分後に宇宙船はロケットから切り離され、国際宇宙ステーション(ISS)へ向かう軌道投入に成功した。約27時間半後に到着する。運用段階の初号機との位置づけで、民間企業が主体となって開発した有人宇宙船の本格的な運用が始まった。

野口さんは事前の記者会見で、**搭乗する機体に「レジリエンス」と名付けた**ことを明らかにしたそうです。「困難から回復する力」などの意味があり、新型コロナウイルスで苦しむ世界が元に戻るための力になりたいとの思いを込め、搭乗員4人で相談して決めたといいます。また、野口さんは「大きな歴史の転換点に日本人として携われる。本当に光栄なこと」と喜びを語ったといいます。スペースシャトル、ソユーズの搭乗に続いて3度目の宇宙飛行で、他の3人の搭乗員より多くの経験を持っています。野口さんはメンバー構成について「経歴も人種も性別もばらばらだが、いろんな背景を持つ人がそれぞれの特徴をチームに提供することで、困難に打ち勝っていける」と説明。**半年間の宇宙滞在でやしたいこととして「宇宙飛行士として最も過酷と言われる船外活動を55歳で実現したい。回復する力、立ち直る力を、身をもって見せていただきたい」と話し、「レジリエンス」を体現することを誓った**そうです。

